

インターバンク市場の短期金利

日本銀行は短期金利の政策目標を-0.1%に設定しているが、マイナス金利について説明したことがあるが、金利をマイナスにしている限り貸し手が損をするからどこの金融機関も貸さないのである。資金調達をしたければコールレートがマイナスである限り日本銀行に金融機関は緊急融資を申し込む以外資金調達の方法がない。なぜなら、民間金融機関は貸すと損するからである。日本銀行はいい加減にマイナス金利を改めて公定歩合も基準貸付金利もプラスに持っていないと金融機関のビジネスが成り立たない。つまり、まともな仕事をしているバンカーはマイナス金利では貸さないのである。「家計はインフレに慣れてきた」などという発言をする日本銀行総裁の見識を疑う。企業の物価が上がってきたならば、消費者物価も価格転嫁すべきであるが、その代わり家計の収入を増やさなければならぬので、労働者（会社員）の賃金は上げるべきである。すべてロシアのウクライナ侵攻による原油（資源）価格上昇のせいにしたいらしいが、騙されてたまるか。インフレーションに良いインフレも悪いインフレもあるか。とにかく、マイナス金利はダメだということを政府・日銀は認めるべきである。利益が上がらなければ誰も経済活動などするはずもないからである。政策金利をマイナスにしているのは日本だけなのである。アメリカ合衆国との関係だけに限っても、日米の金利差で資金は米国に向かうだけである。そのせいで進んでいるドル高円安なのである。円安はインフレーションを導くが、精密にできた日本製の製品の輸出のありがたさに気がつくべきである。インテルのCPUを作っている機械を作っているのは日本企業だぞ。政府の政策にかかわらず日本企業は日本製の良さを誇りにおもうべきである。

2022年6月11日(土曜日)

英文法令社
佐藤 賢一